

情報誌の新名称募集します

皆さんに環境教育の一貫として、環境情報を伝えるために、毎月発行している環境情報誌「AOYAGI エコ」も、ついに100号を達成しました。じつは、この名称になる前「環境パンフレット」という名称で100号を達成し、実際には200号となります。現在の名称も、その時一般公募で付けられた名称です。簡単に100号と言ってしまうですが、毎月発行し続けて8～9年かかる計算になります。同じ名称で通すことも正しい選択ではありますが、皆さんに少しでも親しんでいただけるような、名称を広く募集したいと考えています。良いアイデアがあれば、応募用紙に記載して提出してください。応募は、原則、一人一枚です。必ず新名称の由来などを記載してください。選考の対象になります。採用された名称の考案者には、賞品を用意しています。

分別の徹底をお願いします

ダンボールを分別していただく中で、ビニール製のクッション、緩衝材が問題と前回の記事でご注意ください。同じ理由で、取説などの用紙も問題です。取説は同じ紙類でも雑紙に分類されています。紙回収業者に持ち込んだ際、違う種類のものの混入として注意を受けることがあります。分別が難しくければ、最低限箱の蓋をしないでください。空いていれば、中の様子が良く見えます。こうしたことがあるので、取説をきちんと分別していただいた箱まで、全部点検することになります。廃棄物の処理をスムーズに行うためにも、皆さんの協力が必要です。よろしくお願いします。

水戸市環境フェア開催されました

水戸市環境フェアが10月15日(土)ホテルレイクビューを会場に開催されました。今回のフェアは、以前のように企業・団体がそれぞれ思考を凝らして各ブースに別れて行なうものではなく選ばれた団体が、ステージで発表を行う形式で行われました。当社が支援している団体は掲示のみで参加しました。来場者も少なく、寂しい環境フェアになってしまいましたが、講演で登壇した、五箇公一先生(昆虫学者・特にダニが専門)と水戸市出身の浅利圭吾君(生物博士ちゃん)の話はとても面白く、講演終了後もたくさんの質問が寄せられ、時間をオーバーする程でした。ダニの話は初めて聞くことばかりで、自然界の不思議さを感じました。次回は、通常通り開催を期待します。

紙リサイクルのお話 第8回「雑誌・広告類」

雑誌もリサイクルできる紙類です。カタログなど厚めの印刷物も、リサイクル分別をお願いします。特にカタログなどは、場所をとるため、所定の紙類ストッカーに入れず、担当者に声がけください。大量に運搬しなければならぬとき、カタログなどのリサイクル品は、非常に重く、難儀しています。このところ、カタログなどの書籍類は数を減らしています。古くなって、不要になったものなど、ありませんか。あまり長く保管していると、カビなどが生えてリサイクルにはむかなくなります。油等で汚れているものもリサイクル出来ません。紐などで縛る必要もありません。そのままの荷姿で、他の紙類といっしょにだしてください。カタログをダンボールに入れて出すこともご遠慮下さい。

最高責任者のコメント ～ マイクロプラスチックの現状 ～

美化活動、協力に感謝する。今回も残念ながら、ペットボトルやレジ袋などのプラスチック製品数多く回収された。活動範囲が那珂川堤防であることを危惧している。放置された状態にしておけば、いずれ海に流れて行く。プラスチックは分解されるまで、数十年かかるといわれ、自然に戻ることはない。また、化学変化で有害な物質をだし、魚、それを捕食する、鳥や、大型の魚類に深刻なダメージを与える。当然、人間にも影響がでて来る。正しい廃棄を心がけてほしい。

2022年度環境目標達成状況

エコキャップは順調です。
電気使用量は、温暖な
気候の影響で、今月は
すべて目標達成です。



	今月の目標	今月の実績	今月の評価	本年目標累計	本年実績累計	累計達成率	全体評価
電気使用量 本社工場(kwh)	7,276	6,301	↑	49,898	46,936	106%	
組立工場(kwh)	4,529	4,058	↑	31,439	30,643	103%	
Nサイト(kwh)	10,316	9,869	↑	75,411	73,059	103%	
電気使用量 合計(kwh)	22,121	20,228	(減)	156,748	150,638	104%	(減)
エコキャップ(個数)	1,244	1,300	(減)	9,143	9,570	104%	(減)
美化活動/エコドライブ/教育		2回目計画			2回目実施		—

上段の写真は、10月30日、3年ぶりに行われた水戸漫遊マラソンのフィニッシュ風景を撮影しました。開催されて本当に良かったと思います。(10月30日撮影)



2022年11月9日
青柳工業株式会社
環境会議

環境情報誌新名称応募用紙

毎月発行して、皆さんにご覧いただいている環境情報誌「AOYAGI・エコ」ですが、2022年11月で100号になりました。この環境情報誌は、環境活動を開始した2006年4月から今まで、15年以上続けています。これからも、皆さんに親しんで読んでいただけるよう、新しい名称を募集いたします。

新しい環境情報誌名称

